

## 2. 緊急地震速報活用アンケート結果

本端末システムの設置企業に対して緊急地震速報配信が行われたとき、企業はどのような対応を取っているかを把握するため、比較的大きい揺れのあとは、「緊急地震速報配信状況に関するアンケート」を行っている。2005年度は、4つの地震でアンケートを行った。その結果の一部を表1に示す。

回答社数をみると、第2回までのアンケートに関しては、回答率が良く、3回目以降回答率が50%程度に下がったことがわかる。「緊急地震速報の配信画面は確認できましたか？」という質問に対して、第3回、4回の回答が、「確認できなかった」という答えが多かった理由として、事業所が運営されていない土曜日であったことや早朝の時間帯であったことが挙げられる。その他に、「音が小さくて気がつかなかった」という回答もあった。

「確認した方はどなたでしょうか？」という質問では、システム担当者か警備室職員が確認した会社が多い。これは、端末の設置箇所が担当者の所属部署ないしは警備室であるためである。

さらに、「画面を確認したあと、どのような行動をとりましたか？」という質問では、「画面を確認していたのみ」や「周囲にいた人への注意喚起をした」がほとんどである。地震端末との接続による放送などの自動処理を行う事業所は現在5ヶ所であり、今後の活用をさらに進めていくような支援体制をつくっていく必要がある。

表1 緊急地震速報配信状況に関するアンケートの結果

	2005/7/23 16:34 千葉県北西部地震	2005/8/16 11:46 宮城県沖地震	2005/12/24 11:2 愛知県西部の地震	2006/3/16 6:24 岐阜県美濃 東部の地震
回答社数	24社/28社	24社/28社	12社/28社	16社/28社
Q: 緊急地震速報の配信画面は確認できましたか?				
画面を確認した	8	7	4	6
画面は確認できず	4	5	7	10
端末が未設置	9	9	0	0
その他	0	0	0	0
無回答	3	3	1	0
Q: 確認した方は、どなたでしょうか?				
担当者	4	3	1	2
警備室職員	4	4	4	4
その他	0	0	1	0
Q: 確認できなかった方は、なぜ確認できなかったのですか?				
画面が表示されなかった	0	1	1	0
画面のそばにいなかった	2	2	4	9
電源が切れていた	0	0	0	0
その他	0	0	0	0

また、今後以下のようなことを計画している会社がアンケートよりわかった。

- 速報配信時に従業員全員または関係者全員に一齐放送やサイレンで知らせる
- 備蓄品の整備・保存
- マニュアルの整備
- 避難経路の確保